

令和6年度第1回吹田市立障害者支援交流センター
指定管理者候補者選定委員会

1 開催日時

令和6年7月29日（月）午後1時30分～3時30分

2 開催場所

吹田市立障害者支援交流センター（あいほうが吹田） ボランティア室

3 出席委員

福本倫之委員長、相馬孝副委員長、須郷紳弘委員、井上寧委員、清水美子委員

4 欠席委員

なし

5 次第

(1) 開会挨拶

(2) 委員長及び副委員長の選出

(3) 諮問

(4) モニタリング評価の進め方

(5) 施設見学

(6) 評価内容の審議

6 議事の概要

(1)開会挨拶

福祉部長より挨拶

(2)委員長及び副委員長の選出

委員互選により福本委員を委員長に、相馬委員を副委員長に選出

(3)諮問

福祉部長が諮問書を読み上げ、委員長へ手交

(4)モニタリング評価の進め方

モニタリング評価について説明

（質問等なく、モニタリング評価手順について承認）

(5)施設見学

(指定管理者による施設見学を実施)

(6)評価内容の審議

【委員】

管理経費の削減について、照明を LED に換えるなどは市の仕事か。

【事務局】

市の取組として、市の全施設を対象に照明の LED 化を進めている。

【委員】

光熱水費は市が負担しているのか。

【事務局】

指定管理者が指定管理料から支払っている。

【委員】

経費削減だけでは対応できないほど光熱水費が高騰している。今後の対応について検討をお願いしたい。

【委員】

この施設は福祉避難所として活用されなければならないと思うが、災害時の対応などはどこの評価項目になるか。

【事務局】

災害時対応については、市が行うモニタリング評価項目にある。そちらで市の評価を確認してほしい。

【委員】

医療的ケア者の利用が多いが、災害時に電源が落ちたときや、利用者の避難などはどうするのか。防災計画などはあれば教えてほしい。

【事務局】

災害時の対応については、指定管理者が作成している計画に記載している。資料を提供するので御確認をお願いしたい。

【委員】

他市にはない特徴的な施設だと思うため、潜在的な利用者へのアピールにも力を入れてほしい。

【委員】

支援学校も利用者が増えていると聞いている。今後、知的障がい者の利用ニーズが増えてくると思う。医療的ケアとはまた違ったスキル、人材が必要になってくると思う。

【事務局】

時代とともに施設職員に必要なスキル、人材も変わっていくと思う。市も人材がしっかり確保できるよう支援していきたいと考えている。

【委員】

利用者が施設を退所した理由を把握することも、今後の施設のあり方を考える上で大切ではないか。

【事務局】

御家族の高齢化などを理由に施設入所に移行される方や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により利用者が減少したと聞いている。

【委員】

苦情受付担当者名、苦情受付責任者名を施設内に掲示しないといけないと思うが、見学したところ掲示が見当たらなかった。

【事務局】

指定管理者に確認する。

【委員】

協定書に懇談会を実施することと書いている、実施状況などを評価項目に入れてもいいのではないか。

【事務局】

評価項目に入れる。